



Photo: UN Women / Ryan Brown

## 国連ウィメン日本協会新体制のご挨拶

顧問 橋本ヒロ子

私は、有馬前理事長に誘われて、国連ウィメン日本協会の理事をした後に、引き継ぎ、理事長を2期務めさせていただきました。今年1月、80歳になり、新たな出発をしようと理事長を退任しました。



国連ウィメン日本協会の活動は、世界100か国におけるUN Womenの女性と少女の支援活動のための寄付を集めることです。そのためにUN Womenの広報活動の一環として、年に3回イベントを開催していますが、学生などにもっと活動を知ってもらい身近な問題として考えてもらえるような活動も必要だと感じました。また、企業との連携協力活動も十分ではなく、寄付につながる可能性を探る状態でした。次の理事長や理事たちに期待するところです。私は、4月出発の船旅でUN Womenの広報活動をする予定です。今まで大変お世話になりました。

(前理事長)

理事長 林 礼子

はじめまして

SDGsの考え方の根幹である“だれ一人とり残さない”世界をつくって行くということに賛同し、これまで、その実現に少しでも寄与したいと考えて参りました。



世界中に多くの社会課題がありますが、女性と少女へのエンパワーメントは極めて重要であると考えております。

近年、災害、紛争が多発し、世界中の様々な社会課題解決の取組について停滞または後戻りが見られております。女性や少女たちの状況も依然し改善の余地が大いに残り、日本におけるジェンダー指数の低さや子どもの貧困も重要な課題です。

本協会の活動をさらに活性化し、世界の女性や少女たちをサポートする中で、私たち自身と私たちの地域や社会の在り方を見直す学びも得て参ります。

たとえ小さな一歩でも、多くの方々と共に前に進むことで“だれ一人取り残さない世界”の実現につながるのだと信じています。皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

## 国連「国際ガールズデー」 オンライン チャリティ・イベント報告

日時：2025年10月11日（土）10時30分～12時

会場：Zoomウェビナー

共催：（公財）日本女性学習財団

講演：「脅かされる少女たちの権利

Sexual Reproductive Health and Rights  
セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ  
（性と生殖に関する健康と権利）～今、求めら  
れていることは？～

講師：福田友子氏

（国際家族計画連盟（IPPF）地域事務局長）

参加費：無料

本イベントは、少女のエンパワーメントを目的に国連が制定した国際ガールズデー当日に開催されました。マレーシアのクアラルンプールから登壇して下さった福田さんが所属するIPPFは、世界のすべての人々が差別されることなく、自分の健康とセクシュアリティについて自由な選択ができる社会を目指し、性と生殖に関する健康と権利の情報とサービスを提供している国際団体です。

福田さんは、アジア太平洋地域における、若年女性の妊娠や出産、保健サービスへのアクセスと提供体制、児童婚や早期/強制結婚と女性性器切除/損傷の実情を驚くべきデータと共に、分かりやすくお話くださいました。コミュニティから受ける様々な圧力の中で、少女たちが人生を左右する大事な決断をする力となり、その支えとなる鍵として提示されたのは、包括的性教育と思春期に配慮した性と生殖に関する健康ケアです。クイズを交え、チャット機能を活用して双方向のコミュニケーションをとるように工夫して下さった福田さんの笑顔とご講演は、10代～80代、60名の参加者にとって、今後の活動のヒントとなったことでしょう。

寄付付のチケット購入者は20名、計51,000円の寄付につながりました。

昨年に続き、会議室と機材、スタッフを提供して下さった日本女性学習財団に心から感謝いたします。



“アジア太平洋地域には、約10億人の若者（10-24歳）が暮らします。”

“約■%のアジア太平洋地域における若年妊娠は、予期せぬ妊娠です。”

“妊娠や出産に伴う合併症は、世界中の若年女性において、死因の第■位です。”

## 「女性に対する暴力撤廃国際デー」 イベント報告

2025年11月29日、国連ウィメン日本協会は、公益財団法人 日本女性学習財団との共催の下「女性に対する暴力撤廃国際デー」オンライン・チャリティセミナー：「中央アフリカ共和国の女性と少女に対する暴力をなくすために」～UN Women日本人職員が現地から最新の情報と現状を語ります～を開催しました。

仲亀奈保子UN Women中央アフリカ共和国事務所人道プロジェクト分析官/パートナーシップ担当から、中央アフリカ共和国で年間22,107件発生しているジェンダーに基づく暴力（GBV）の現状およびUN Womenの取り組みと日本政府の支援につき話がありました。

世界最貧国の一つである中央アフリカ共和国では、女性と少女は医療・教育の不安や治安悪化の中で、極めて厳しい状況に置かれています。GBVの74%が家庭内や難民キャンプ等で発生し、その大半の66%は家庭内の加害者によるもので、家庭内暴力の深刻さが明らかです。

UN Womenの取り組みとしては、女性差別的な法制度の改革支援やGBV被害者へのワンストップ支援体制の整備を行っているとのことでした。

日本政府からも、ワンストップセンターやモバイルクリニックでの支援などを通じ、10年間で10万人以上の女性と少女が直接支援を受けたとのことでした。

最後に、仲亀様から「私たちにできること：知る、伝える、支援する」との力強いメッセージをいただきました。

皆さまのご支援をどうぞよろしく願いいたします。

理事 伊藤光子



## 2026年「国際女性デー」 ウクライナ支援チャリティ・コンサート 中村太地「ウクライナへの想い」報告

3月1日、「国際女性デー」ウクライナ支援チャリティ・コンサートを、東京ウィメンズプラザで約140名の参加を得て開催しました。

ロシアのウクライナ侵攻から2月24日で4年が経ちましたが、和平交渉は未だ遅々として進まず、今なお戦火が続いています。

その間、UN Women（国連女性機関）はウクライナの女性と少女のために継続して支援活動を行っており、国連ウィメン日本協会も、日本からその活動を継続して支援しています。

冒頭、橋本ヒロ子理事長よりの挨拶の後、焼家直絵 UN Women日本事務所所長よりのご挨拶がありました。

その後、第一部として、バイオリンの中村太地さんとピアノ伴奏の石井楓子さんの演奏会、第二部として「ウクライナへの想い」を語る～中村太地と角茂樹元ウクライナ大使との対談～となりました。

中村さんの会場いっばいに響きわたる透き通る様なバイオリンの音色と、石井さんのピアノ伴奏は素晴らしく、聞き覚えのある曲目が幾つか演奏されました。コンサートのテーマでもある「平和」を願う気持ちを込めて、あえてロシア出身のラフマニノフの一曲も選んだとのこと、最後に哀愁を帯びた「ひまわり」が演奏され、観客一同盛大なる拍手となりました。

中村さんと角大使との対談では、中村さんが角大使からの依頼で初めてウクライナで演奏をした時の思い出や、角大使からは、現在ウクライナを初め世界中で起きている状況につき改めて「正義」につき考えなければならぬとの心に響く発言がありました。

副理事長 伊藤光子



## 国連ウィメン日本協会総会報告

2026年通常総会が、3月7日（土）10時半から婦選会館において開催され、阿部幸子（正会員・国連ウィメン日本協会東京）議長の下、2025年度事業報告・決算報告、2026年度事業計画・活動予算などが承認されました。

### 決算報告

国連ウィメン日本協会2025年度決算報告

（2025年1月1日～12月31日）単位：円

#### 一般会計

■収入の部		■支出の部	
会費収入	1,770,000	拠出金	8,711,271
寄付金収入	11,665,028	事業費	8,401,146
参加費・雑収入	60,120	管理費	3,649,323
繰入金	7,300,000		
当期収入合計	20,795,148	当期支出合計	20,761,740

#### その他の資金

■収入の部		■支出の部	
その他資金収益計	451,687	その他資金支出計	11,500,495

当期正味財産増減額 33,408  
前期繰越正味財産額 39,350,689  
次期繰越正味財産額 28,335,289

### 2025年度拠出金支援報告

拠出金総額は8,607,021円（54,745.08ドル）となりました。

- ①ウクライナ支援 525,000円（3,339.27ドル）
- ②ガザ危機支援（レバノン含む）  
750,000円（4,770.39ドル）
- ③ロヒンギャ難民キャンプ  
375,000円（2,385.19ドル）
- ④アフガニスタン支援 1,125,000円（7,155.58ドル）
- ⑤ミャンマー地震支援 375,000円（2,385.19ドル）
- ⑥女性に対する暴力撤廃国連信託基金  
1,125,000円（7,155.58ドル）
- ⑦コア（緊急支援含む） 4,332,021円（27,553.88ドル）



ネットワーク会議の様子

### 2026-2027 新体制

理事長：林 礼子

副理事長：伊藤光子 本田敏江 三輪敦子

理事：浅野万里子 及川美紀 大島まな  
神崎智子 小林暢子 成田裕紀  
芳賀日登美 村井暁子

監事：伊藤佳江 荻野良江

## 協力協定団体の活動

### 国連ウィメン日本協会 北九州

毎年、北九州市立男女共同参画センター・ムーブで開催されるムーブ・フェスタに合わせてチャリティバザーに取り組んでいます。2025年度は7月26日(土)にムーブ交流広場で行いました。毎年、楽しみにされている利用者の方がおられ、今年も行列ができるほどの賑わいでした。来場者から「国連ウィメンって、どんな団体ですか?」とのお尋ねもあり、ウィメンを知っていただく貴重な機会になりました。当日は141,800円の売り上げがあったほか、募金が1,563円も寄せられました。バザーの収益金は、国連ウィメン日本協会を通じて、UN Womenに寄付され、世界中のジェンダー平等と女性のエンパワーメントの推進を支援する活動に役立てられています。

事務局 福岡賢司



チャリティバザーの様子

### 国連ウィメン日本協会 大阪

2025年12月にヒューライツ大阪とクレオ大阪中央主催の「じんけんシネマ2025」に共催団体として参加しました。今回は、紛争下の性暴力サバイバーで2018年のノーベル平和賞受賞者でもあるナディア・ムラドさんを追ったドキュメンタリー「ナディアの誓い」と、東京都杉並区長選に出馬し政治分野に挑戦する女性の姿を追った「映画〇月〇日、区長になる女。」の2作品が上映されました。「ナディアの誓い」には、「平穏な日常の尊さを感じた」「日本、そして自分に何ができるのか考えたい」などの声が寄せられ、壮絶な暴力にさらされた女性が勇気をもって声を上げ社会を変えようとしている姿に多くの参加者が深く感銘を受けました。「映画 〇月〇日、区長になる女。」には、「何かを変えたいという一人ひとりの思いが集まり力になることに勇気もらった」「政治は変えられると希望を持った」といった感想が寄せられ、女性の政治参加を考え

る機会となりました。当イベントは、8回目を迎え、「毎年楽しみにしています」といった声もいただいています。国連ウィメン日本協会大阪としても、継続的に関わることの意義を改めて実感した機会になりました。

事務局 長栄くみ子



「じんけんシネマ2025」の様子

### 国連ウィメン日本協会 東京

2025年9月22日には東京ウイメンズプラザ2階の会議室で勉強会を開催、インド映画『マダム・イン・ニューヨーク』を鑑賞しました。この映画は、ごく普通の主婦が苦手の英会話を習得することによって自信と自らの尊厳を取り戻していく物語ですが、この作品を通して語られるメッセージから改めて「自立して生きるとは?」を考え、上映後の討論時間では、熱心な意見交換の場が持たれました。

また、11月16日には関連団体である国際婦人年連絡会が主催する2025NGO日本女性大会に参加、「北京+30年」の年月を経ても未だ「女性の権利は人権である」を主張し続けなければならない現実に向き合い、基調講演やシンポジウム等を通してジェンダー問題の今について改めて考える機会を持ちました。

12月10日発行のニューズレターVol.37では、これらの活動を中心に編集、国連ウィメンの積極的な広報活動を展開し、募金、寄付活動に繋げることができました。

副会長 阿部幸子



2025年の映画会の様子

## 国連ウィメン日本協会 さくら

第25回アジア太平洋女性連盟 (FAWA) の国際会議が2025年9月台湾で開催されました。

今回は「AIと女性の関わり」をテーマに、各国から活発な意見が交わされました。

デジタルツールは若い女性のリーダーに力を与え、デジタル技術が飛躍するにつれ、これからのジェンダー平等に希望の未来が開ける。女性の権利・平等・エンパワーメントのためにもあらゆる場所での発言力が大事であり、女性主導の組織、私たち国連ウィメンの存在が今こそ重要である事を確認いたしました。

またSDGsのローガンである「誰一人取り残さない」達成まであと5年。「北京+30」「女性の権利は人権である」まず身近なところから自分が出来る事から前進する事の大切さを訴えました。

会長 小山志賀子



日本の報告

## 国連ウィメン日本協会 多摩

2月8日(日)にチャリティーコンサート「寒さにまげず三線で 春を呼ぼう!」を行いました。まさかの立春をすぎてからの大雪に開催が危ぶまれました。足もとの悪いなか、大勢の皆さんが集まってくださいました。地元昭島在住のタケシイの三線演奏で、沖縄の歌・音楽を楽しみながら沖縄の文化に触れることができました。会場は最近オープンした建物。以前は3階建てにもかかわらずエレベーターがなく、車いすの方が参加しにくい建物でしたが、建て替えられ12月にオープン。電動シルバーカーも楽に乗り降りできるエレベーターも設置され、大勢に声掛けができ成功裏に終わりました。

広報担当 高橋由美



幸せの風をかき交ぜる沖縄独特の踊りを習い、歌に合わせて踊る参加型のコンサートでした。

## 特定非営利活動法人国連ウィメン日本協会 応援メッセージ

2月の初旬に私達は、国連ウィメン日本協会におじゃましました。今回の訪問は、社会貢献学習の一環であり、活動内容や現在女性が抱える様々な困難や現状について詳しくお話を伺いました。今まで新聞やテレビで目にする事はあっても、どこか自分には関係のない事と思っていた問題が実は身近にも起こりうる事なのだと学ぶ、現状を正しく認識することの大切さを痛感しました。学習した内容は班でまとめ、クラスで発表をしました。問題点を理解するだけでなく、それを解決するために私達に出来ることを考えて議論したことは自分自身の意識の向上に繋がりました。今回の訪問で得た学びは、授業の課題で終わらせるのではなく、この先の将来へ繋げる学びとしていきたいと思いま

す。この先、多くの女性が苦しみから解放されて自分らしく生きることができるよう、そして国連ウィメン日本協会の活動が周知され、更に活動の幅が広がられますことを願っております。

東京女学館中学校3年F組2班



## 事務局からのおしらせと報告

### ■ ご寄付のお願い

世界の女性と少女を取り巻く環境の悪化に伴いUN Womenは支援活動を拡大していますが、資金不足に悩んでいます。ご寄付は税制上の優遇措置の対象になります。ぜひホームページからお申込みください。

<https://www.unwomen-nc.jp/support/donation/>



### ① 「国連ウィメン・マンスリーサポーター」になりませんか？

月々一定額のご寄付を続けていただくマンスリーサポーターを募集しています！

毎月のご寄付は、UN Womenが各地で継続的にプログラムを展開する上で、なくてはならないご支援です。皆様の安定的な支えにより、緊急時に迅速に、長期の支援に計画的に取り組むことが可能になります。

- ・用途について  
UN Womenがその時、最優先と判断する支援に大切に使用させていただきます。(最優先指定)
- ・寄付の方法について  
クレジットカードからの自動引き落としです。銀行・郵便局の口座振替をご希望の方はご自身でのお手続きが必要です。事務局までお問合せください。
- ・金額について  
月々1,000円以上、千円単位で、申し込み画面の選択枚より金額をお選びいただけます。

### ② 今回の寄付

いつでもご自身のタイミングで、ご都合にあわせた金額でのご寄付いただく方法です。

- ・用途について、最優先指定以外をご希望の場合は、メッセージ欄等でその旨お知らせください。
- ・ご寄付の方法は、クレジットカード、郵便振替、銀行振込です。ホームページから簡単にご寄付いただけるクレジットカード決済(1,000円以上から)がおすすめです。

(郵便振替)  
記号番号:00240-7-43928  
口座名義:NPO法人国連ウィメン日本協会  
(銀行振込)  
ゆうちょ銀行 当座 ○二九店(ゼロニキュウ)  
口座番号:0043928  
口座名義:同上

### ■ 2025年 団体・企業からのご支援(五十音順)

団体:秋田ゾンタクラブ 群馬婦友会 国際ゾンタ26地区  
国連ウィメン日本協会大阪 国連ウィメン日本協会北九州  
国連ウィメン日本協会さくら 国連ウィメン日本協会多摩  
国連ウィメン日本協会東京 十文字学園女子大学  
女性コーラス コールJOY 新日本婦人の会  
順天堂大学 せんだい男女共同参画財団 全国友の会  
果てとチーク

企業:(株)イベント21 (株)昭和商会 (株)セキララカード  
(株)高島屋 ブックオフコーポレーション(株) (株)文創  
(株)meeth (株)ミックスブーン  
(株)morning after cutting my hair

### ■ 2025年 個人からのご支援

452名(企業・団体内で実施された個人募金は除く)

★内、国連ウィメン・マンスリーサポーター 182名

### ■ SNSでも発信しています！

日本協会では、ホームページに加えてSNSでも、世界中の女性と少女のさまざまなストーリー、彼女たちの置かれた状況と解決すべき課題、勇気ある闘いの様子、そして、そんな彼女たちを支援するUN Womenの活動や当協会のイベント、募金活動について発信しています。

以下のSNSのフォローをぜひお願いします!そして、いいね♡、シェア、リポストなどお願いいたします。

SNSを通じて、より多くの方に世界の女性と少女のこと、そして、私たちの活動のことを知っていただくことがとても大きな力になります。私たちの協会のアドボカシー活動にご協力をお願いいたします。



### ■ 正会員団体10団体(前回掲載以降2026.2.28現在)

(公財)アジア女性交流・研究フォーラム 国際婦人年連絡会  
堺市女性団体協議会 (公財)横浜市男女共同参画推進協会  
(一財)大阪男女いきいき財団 群馬婦友会 国連ウィメン日本協会多摩 全国友の会 (株)高島屋 国際ゾンタ26地区

### ■ 正会員個人19名(前回掲載以降2026.2.28現在)

### ■ 賛助会員団体15団体(前回掲載以降2026.2.28現在)

日本生活協同組合連合会政策企画部  
にいがた女性会議 越谷ミズの会 (株)グッドバンカー  
(公財)佐賀県女性と生涯学習財団 (株)フジテレビジョン  
国際ゾンタ姫路ゾンタクラブ (株)クロスメディア・ランゲージ  
国連ウィメン日本協会北九州 (一社)大学女性協会  
(株)Mar United 横浜新港倉庫(株) 国連ウィメン日本協会さくら  
国連ウィメン日本協会東京 NPO法人一冊の会

### ■ 賛助会員個人95名(前回掲載以降2026.2.28現在)

以上、敬称略

## <認定>NPO法人国連ウィメン日本協会

### 事務局

〒244-0816 横浜市戸塚区上倉田町435-1

男女共同参画センター横浜内(フォーラム)

・TEL/FAX 045-869-6787

・E mail unwomennihon@adagio.ocn.ne.jp

・ホームページ <https://www.unwomen-nc.jp>

●交通のご案内 JR・横浜市営地下鉄「戸塚駅」下車、徒歩7分

